

交通安全だより

二本松警察署 交通課

2021年2月1日 発行

今月の行事

1日(月)・・・交通事故ゼロ・歩行者優先の日

2日(火)・・・交番設置記念日

15日(月)・・・シルバー交通安全の日

21日(日)・・・交通安全話し合いの日

23日(火)・・・踏切事故防止の日



令和2年中の交通事故件数

	令和2年	令和元年	増減数	増減率
人身事故	65	84	-19	-22.6%
死者数	1	2	-1	-50.0%
傷者数	74	92	-18	-19.6%
物件事故	951	1,115	-164	-14.7%

令和2年中は、5月、6月、10月に交通事故が集中しました。特に6月が9件で最多でした。

通勤時間帯に事故が集中しており、特に17時台に多発、道路別では、国道4号での事故件数は昨年に引き続き減少しましたが、依然として事故の多い状況が続いています。

原因別では、約75%が前方不注視や安全不確認で、年齢別では、40代、50代の働き盛りの割合が高くなっています。

厳冬期の事故防止

2月は、寒気の影響で降雪や凍結などがあり、スリップによる衝突など冬型事故が多発する時期です。車間距離を十分とるとともに、強いブレーキや急なハンドル操作をしないための的確な危険予測が必要で、加えて、気象情報や経路の規制情報の収集を綿密にして安全運転を徹底してください。**ホワイトアウト**とは、大雪と強風により舞上げられた雪により視界が一面真っ白になった状態のことで、この状態になると視界が極端に悪くなります。ホワイトアウト対策としては、視界が悪化し、運転が難しいと判断した場合は、前照灯・ハザードランプなどを点灯させ、車を目立つ状態にしましょう。走行軌跡をたよりに、ゆっくり走行してください。運転が困難な場合は、道の駅などの安全な場所に停車しましょう。



新しい
交通死亡事故
防止対策

「福島セーフティ五つの“柱”」

令和2年中の交通死亡事故の検証結果を踏まえ、交通死亡事故の更なる減少を図るため、5つの重点推進事項として

「福島セーフティ五つの“柱”」

をキャッチフレーズに交通死亡事故防止対策を推進します。

☆年柱（としばしら）

高齢者の交通事故防止



☆夜柱（よるばしら）

薄暮時と夜間の交通事故防止



☆歩柱（あるきばしら）

横断歩行者の保護



☆交柱（まじわりばしら）

交差点における交通事故防止



☆帯柱（おびばしら）

シートベルト・チャイルド

シートの着用の徹底



- 本格的な雪のシーズンが近づいています。急発進、急加速、急減速、急ハンドルに注意！
- 駐車場内での交通事故が多くなっています。油断しないで安全確認を徹底！
- 2月の日没時間
1日午後5時2分 PM4ライトオン
15日午後5時17分 運動実施中！
28日午後5時31分 午後4時に点灯！！

交通安全スローガンが新しくなりました！

福島県交通対策協議会では、交通安全意識を高め、交通事故をなくすため、令和3年から使用する新たな交通安全スローガンを募集したところ、総数787作品の応募があり、選考の結果、「年間スローガン」として「わたります 止まるやさしさ ありがとう」鈴木 尚修（すずき なおひさ）郡山ザベリオ学園小学校5年の作品に決まりました。

